

令和 5 年度第 2 回（第 12 回）  
 おいらせ町百石高等学校魅力アップ推進協議会 会議録

日 時	令和 6 年 3 月 2 5 日（月） 1 0 時 0 0 分～1 1 時 1 5 分	
場 所	おいらせ町役場 本庁舎 庁議室	
案 件	(1) 令和 5 年度の取り組み状況について (2) 令和 6 年度の支援事業費補助金の支援項目拡大について	
出席者	<b>【出席者】 6 人</b> 会 長：澤上 訓 (一財)百石高等学校後援会 理事長 副会長：吉田 長一 社会福祉法人 奥入瀬会 事務長 委 員：志村 博 青森県立百石高等学校 校長 委 員：松林 義一 おいらせ町教育委員会 教育長 委 員：中村 淳悦 元高校事務長 委 員：田嶋 裕行 シルバー人材センター  <b>【欠席者】 3 人</b> 委 員：吉田 健志 百石高等学校 PTA 会長 委 員：袴田 真吾 おいらせ町連合 PTA 代表（木内々小） 委 員：中嶋 真理子 三沢公共職業安定所 所長	
	事務局	政策推進課 課長 柏崎 勝徳 課長補佐 川原 真栄子 主査 川口 冬子
傍聴者数	0 名	

● 2. 会長あいさつ

発言者	発言内容
会長	皆さん、改めておはようございます。 どうもこの 3 月というのは、なぜか気持ちがざわざわして落ち着かず、役場でも人事異動がありましたし、学校関係も人事異動がありました。 非常にお忙しい中、こうしてお集まりいただきまして本当にありがとうございます。 政策推進課でも課長と担当が異動になったということで、おそらく後で挨拶があろうかと思えます。よろしくお願ひします。 本日の案件は、2 件ございます。令和 5 年度の取り組み状況につい

	<p>て、それから令和6年度の支援事業費補助金の拡大ということで、今まで少し学習塾の助成というところだけにガチッと集中していたのかなと、もしかすると来年度予定しているような通信教育費とか公務員試験対策とか、そういったものにも広げて補助金を交付することで、受ける生徒さん方の気持ちが、何か違うのかなというようなことと、それから、バスの通学費等の補助金について、これらも非常に大きな比重を占めるのではないのかなというような気がしているので、今日は皆様方に忌憚のないご意見を言っていただきまして、良い会議にしたいなと思っております。</p> <p>よろしくお願いたします。</p>
--	---

●案件(1) 令和5年度の取り組み状況について	
発言者	発言内容
事務局	～資料説明～
会長	付け足しやご質問等がございますか。
委員	事業があり、それについてやったやらないという報告がありましたが、実施なし、参加なしなどの要因は、会議の中で後で説明があるということでしょうか。
事務局	<p>はい。では一つ目、支援の柱1の塾助成ですが、今年度0名ということで、昨年度は1人いらっしゃいましたが、今年度は塾に通っている生徒さん自体が少ないっていうのもありますけど、正直こちらからの制度周知や情報発信が少なかったのかなということもあります。</p> <p>模擬試験の受験料に関しては、昨年度より人数が少なくなっています。</p>
委員	キャリア教育支援がなし、高校生レストラン実施なし、百石まつり出演参加なし、この辺のところ何かしら要因とか何か理由があるのか。その辺の具体的要因が何なのか校長先生に聞きたいです。
委員	<p>まず学習塾の費用助成ということで、いわゆる学習塾という縛りがございまして、実際には例えば公務員になりたいとなれば、専門学校とかでやっている集中講座を受けに行ったりしている生徒もいますし、また自衛隊の講座を受けたり、通信講座を受けたいという生徒もいるんですが、実際、入試制度が共通テストを受けて大学に進むというよりも、最近は総合型選抜という方向にシフトしてきていて、いわゆる学校の活動で何をしたかとか、どう取り組んだかということの方が重要になってきています。その大学進学を目指している生徒が多いんですけども、センター試験、共通テストとかの点数を底上げしていこうというような学習塾への取り組みがなかったということで、この</p>

学習塾費用助成は0名となっています。

ただ実際には、勉強している生徒は何人もいますし、そういう風なことで令和6年度ではこの学習塾の縛りの部分を柔軟に対応していただけると聞いておりますので、今年度はこういう状況であったということです。

あとはキャリア教育支援ですが、オープンキャンパスは結構行っているんですけども、実際その補助金の方に繋がっているかどうかとなると、結果としてなかったということなので、これもやはり今の生徒、保護者の変化というのでしょうか、大学進学を選ぶときの参加する方向がちょっとまた変わってきているというところで、これも柔軟に対応してくださるというようなことを聞いております。

また、支援の柱2のバス補助金ですが、これもまた時代の変化で、ドア to ドア、自宅から学校の玄関まで自家用車での送迎が非常に多くなりまして、機会あるごとにお話ししておりますが、学校の駐車場が足りなくなり、町道に車を停めて待つというのが非常に多くなってきたことから、令和4年度当初に保護者が待つスペースを拡大して、衝突防止用のパトライトも付けて、そのドア to ドアの送迎に特化したようにしています。

結局、この路線というよりは、生徒によってはおいらバスを使って学校に来たり帰ったりもありますので、これも時代が少し変わってきたというようなところで、これもまた見直しをかけてもらっているところですよ。

支援の柱3の百石まつりですが、高校に声がかかったのが夏休み明けぐらいだったので、祭り期間9月の半ばと言いますと3年生の就職試験真っ最中、本校の生徒が就職試験を受ける割合が非常に多くなってきていて、全教職員で就職試験の面接指導をする体制になっていることから、今回の声かけから短期間、時期的な部分で祭りに生徒を派遣することが、学校単位ではできなかったということです。

また1、2年生となると、部活の大会がこの土曜日曜に重なっていて、コロナ前はバスケットボール部員を顧問の先生にお願いをして、よさこいや流し踊りに出てもらったという経緯があったと聞いております。そのコロナの時代関係者の教員がみんな転勤してしまい、資料も残っておらず、どのように人選していたのか、どのように練習していたのかという資料も全く見つからなかったことから、新しい教員の体制では流し踊りとよさこいができないだろうということで、昨年度は校長の判断で見送ったという部分がございますので、参加がなかったということになります。

時代の変化といいますか、生徒の変化、保護者の変化というものが

	<p>実際に支援の部分では該当しにくくなってきたというところがあるか と思います。</p>
会長	<p>今のお話を聞いていかがでしょうか。</p>
委員	<p>次の案件の事業計画が、少なからず今年度の反省も踏まえたことで、 作られると思うので、例えばこれを引き続き次年度も組むとすれば、 実態と離れているといいますか、私達の会議自体がどんなものなのか という、せっかく校長先生が来ているのに学校の思いと、それについて 協議していることのズレがあるような気がして、ただ無駄な時間座 っているような感覚を私は受けます。</p> <p>なので、もし今年度反省することがあったとしたら、それらを来年 度の計画として作るために、今日がその日かもしれませんが、よく検 討して作らないと、ずれたまま関係ない方向に走っているというよう な気持ちになりますので、せっかくの会議ですのでよろしくお願ひし たいと思います。</p>
委員	<p>ありがとうございます。</p> <p>ただ、1年間の流れの中で随時政策推進課の皆さんが学校からの意 見を吸い上げてくださっていて、来年度には本当に柔軟に対応してく ださるというので、私としては本当に感謝しています。</p>
委員	<p>今の件で、支援の柱3が全くないということで、観光物産協会の方 からすると、森の感謝祭とかに関してはお願いしたような結果が見受 けられるものですから、そういう感覚で捉えた方がいいのかなと思っ ておまして、ただ、今校長先生が説明した百石まつりの件にしても、 前担当者が異動したことによって資料が全くないというのは、何のた めの資料なのか非常に私は寂しいなと思って、非常に申し訳ないんで すけども、声掛けが遅かったと言っても、さっきも言った通り担当者 の資料がなかった経緯もあるでしょうけど、毎年やっていたことでは から、この時期はこういうことやっているなというのは毎年想定され るようなものだと思います。むしろ違う理由があるんじゃないかとも 感じました。</p>
委員	<p>実際コロナがあり、しばらく全くない状態で引き継ぐも何もないま ま3年ぐらい過ぎてしまい、私も赴任したときには、百石まつりとい うものに百石高校で取り組んでいたという部分を、実は前任の校長か らも聞いておらず、私が行く前からコロナが始まっていたので、 既に令和2年度の時点で中止で、そこが校長としても引き継ぎがで きなかったということは、今中村委員がおっしゃったように、そこは学 校としての不備ではあります。ただ、一顧問にお願いをされていてその 一部活だけで対応していたのが続いていたというところは、前任の校</p>

	<p>長のさらに前の校長からもずっと続いていると思うのですが、その顧問に投げっぱなしであった状況というのも、それも私自身としても責任を感じるころではあります。そのため、町としてしっかりスクラムを組みながらやるという形を持つてくのであれば、また新たにしっかり組み直していきたいなというふうに思っています。</p>
事務局	<p>吉田委員、中村委員からは、どちらかというと厳しいご指摘をいただきましたましてありがとうございます。</p> <p>いろいろ至らなかった点もあったかと思えますけれども、先ほど校長先生からお話ありましたが、コロナでお祭り自体が4年間できていなかったということ、事務局としては、今まではお祭りの時に生徒さんたちに協力いただいていたというのが念頭にあり、お願いすれば学校の方では協力してくれるだろうという甘い考えがあったため、4年前の状態でお願いに行ったところ、コロナで中断していた関係で高校側でも状況が変わっていたということで、声掛けが遅かったことに関しては本当に迂闊だったと反省はしております。その反省を踏まえて、これまでも密に高校側とは連絡取りながら、内容等についても検討してきましたので、来年度はその反省も踏まえて早めの声掛け等をしていきたいと思えます。</p> <p>吉田委員の方からも、やっている内容が実施なしが多いのであれば、合わないことを計画してきたのではないかというご指摘もありました。それもおっしゃる通りだと思いますが、それを踏まえて令和6年度はどのようにするかに関しては、また高校側と協議をしながら、新しい計画としてこの後ご説明をしていきたいなと思っておりました。以上です。</p>
委員	<p>まず学力の向上の学習塾ですが、なかったということは非常に残念だなと思うところはありますが、ただ、模擬試験の人数について2年生12名が利用しているということ、これは非常に期待をしたいなと思いました。1年生も9名いるので、何とかこの子たちをその方向に向けていただければなという思いでいます。</p> <p>元々この会議の開設の目的は、百石高校の入学希望者を増やすという会議だと私は理解していましたので、特にお願いしたのは塾助成をしてほしいと。中学校の方から送り出した立場にあったものですから、3年生の進路決定のときに、例えば大学に行きたいから八戸に行くという子は少なからずいました。この子たちを少しでも引き止めるためには、これが非常にいいのかなと思いお願いしましたので、塾助成はぜひ続けてほしいと思っていました。それで模擬試験の1年生9名も非常に期待したい数字だなと思いました。</p>

	<p>それから、先ほど2ページのところで、実施なしということについての意見交換がありましたが、これは元々百石高校の存続のための会議だと理解しているので、今回はなしでしたが、もし仮に実施したとしたらこれをどう活用するかが重要です。</p> <p>これを、今の中学生に見えるような形でPRの材料にして、初めてこの事業の成果として表れるわけです。やった、やらないだけでなく、やったらやったらと町民にいっぱいPRする、中学生にいっぱいPRする、そうすることで初めて意義を持つと思うので、こういう方向でもやっぱり考えていければと思ってこの報告を聞きました。</p> <p>以上であります。</p>
事務局	<p>まず塾助成の件です。</p> <p>0名という結果になりました。</p> <p>ただ、先日進路指導の先生や校長先生とお話したときには、塾に通っている生徒さんはいるが、申請をしないと話されていたので、先ほど担当も言いましたがPRの仕方、あるいはその申請の仕方が、もしかしたら面倒くさい手続きになっているのかとか、少し見直して塾に通っている生徒さんがいるのであれば、せっかくなので助成してあげたいという気持ちがありますので、その辺はまた高校側と話し合っていきたいなということが一点。</p> <p>それから、中学生にどう伝えるかというのはまさにその通りだと思っていて、以前カラー刷りのチラシを、教育長と会長と周辺の中学校を回り配って歩いたという経緯もありましたが、コロナの関係で、それ以降は郵送させていただいてPRはしていますが、もう一つ何か工夫を加えてPRする方法を考えていければというふうに考えています。</p>
会長	<p>祭りについては、コロナの関係でやはり4年間という空白ができてしまったものですから、やはり影響が出ていたのかなと思いますが、改めて再度もう一度ご検討よろしくお願ひできればと思います。</p> <p>それから、今教育長さんから話ありましたが、模擬試験を受ける人数が1年生9名、2年生12名とあるので、ここに期待を持って今後の助成等について頑張っていければと思うので、ぜひ事務局も忘れないように引き継いでいただければと思っております。</p>
委員	<p>今教育長がおっしゃった通り、高校生レストラン、お祭り、森の感謝祭、それが果たしてやって中学生が魅力を感じて百石高校に来たいというのか、そういうのをしっかりと捉えていくべき。</p> <p>同じようなことで例えば商工観光課では、自分たちのイベントをただ盛り上げようという感じで高校生を借り出そうとしている。それで</p>

	<p>借り出そうとされては、学校の方としてはたまったもんじゃないと思います。</p> <p>やはりその狙いがしっかりしていないとだと思あるので、新年度はその辺をしっかりやって、資料には入ってないですが、効果のないものは切るの切って違う方に回すというくらいの感覚を持った方がいいと思います。</p>
委員	<p>本当に委員の皆さんのご意見大変ありがたく、やはり厳しい意見というよりもむしろ、もっと支援の仕方を考えてより良く魅力アップという思いが本当に感謝するところであります。</p> <p>今新しく4月に入学予定をしている生徒、もちろん倍率を見てわかる通りだと思うのですが、生徒が定員の約6割となっております。</p> <p>ただこれは学校に魅力がないからということではなくて、そもそも上北地区の中学校3年生の数が非常に少ない状態の中で、各学校が軒並み定員割れをしているような中でも、今ここを踏ん張りどきとして、何とか乗り越えて魅力をまた更にアップして、2年後3年後に活かせるような種まきをしてくださっているというように私は思っておりました。</p> <p>現実には、今年の受験生の面接試験の中で、百石高校では検定試験の補助をしてくださると聞いている、塾や模擬試験などの支援をしてくれているから、と実際に話した生徒が何人もいるという報告が上がっています。ということは、やはり政策推進課の皆さんで、魅力アップのためにチラシを作成したり、様々なアピールをしてくださっているということは確実に伝わっている。中学校の方では知っているし、そういうことを百石高校に入学しようとする一つの方法にもなっているということは、確実に成果は上がっているものだというふうに私は思っております。</p> <p>ただ、いざ地域のイベントとなってくると、そこはまた学校としてのあり方というのがありますし、昨今は少し変わってきているので、これがどう今後柔軟に対応していけるかというところで、委員の皆さんのご意見を校長としても聞きながら反映させていきたいなというふうに思っております。</p> <p>また、この地域の全中学校回ってきました時にも、政策推進課の方でお話しているプラス、学校としてもこのように取り組んでいるというような話をしてくれていますので、地道に耕して種をまいていけば、いずれ芽が出るだろう花が咲くだろうと信じていきたいと思っておりますので、こういうご意見も私としてはありがたいなと思っております。</p>
委員	<p>チラシを作って配っていただいていると思いますが、校長先生が言</p>

	<p>ったように、各種検定の半額補助だったり、級によって全額補助だったり、そういった部分はやはり親、子供にだいぶ浸透しています。それに対してバスや塾、オープンキャンパスの部分はどうしても親も子にしてもいまいち把握できていないのが現状です。</p> <p>検定であれば担任の先生や各教科の先生方が、百石高校は検定補助を出しているから皆さん受けた方がいいよ、と宣伝もしてくださっているんですけども、それ以外の部分はなかなか発信が少ないように感じますので、チラシの中でもそういった部分を工夫して、広げていけばいいのかなと感じました。</p>
会長	<p>非常に貴重な意見がたくさん出まして、もう既に6年度の支援事業費の部分にも関わるお話がありましたので、報告についてはこれで、次に案件2に入りたいと思います。</p> <p>事務局の説明をお願いします。</p>

●案件（2）令和6年度の支援事業費補助金の支援項目拡大について	
発言者	発言内容
事務局	～資料説明～
会長	ご意見ご質問等がございますか。
委員	<p>政策推進課川口さんにはいろいろと学校とコンタクトを取って、特に学力向上に向けて進路指導部の主任と綿密に相談をしてくださいまして、学力の向上の、まずは全生徒に公平にということで、全生徒を対象に学習支援システムCLASSYの助成をしていただくことをお願いいたしました。そして、先ほど委員の皆様から様々ご意見頂戴しましたが、学習塾の適用を緩和していただいて、様々な進路目的に合わせた支援をしていただけると、これはすごく中学生、そしてまた次を目指す本校の生徒にすごく良い効果があるのではないかと考えております。</p> <p>そして何よりも検定料で、うまみを持つというわけではないですが、ただ受験料の半額ではなく、合格した場合には全額負担してくれるという子供たちにとっては頑張り甲斐がある、いわゆるご褒美ではないですが、受験料が無料になるとなれば、おいしいと思って勉強してくれるのではないかなと。今年も準2級の合格がございますので、さらにまた増やしていければ、本人たちの進路目的達成のために必要な資格である、人生のために必要な資格であると思いますので、資格の検定などには学校としてどんどん声をかけて、そしてまた育てていきたいと思っておりますので、このような形で支援してくださり大変感謝</p>



	<p>を申し上げます。</p> <p>バスに関しては来年度で終わりですので、利用するしないはありますが、機会を与えてくださっているということで、大変ありがたいなと思っております。</p> <p>また、遠方や遠隔地の生徒が通学しやすいような環境をどうやって作れるかというのは、今までも町長や教育長とお話をしていますが、それはまた別なお話だと思いますが、そのように色々と政策推進課の方で考えてくださっていて、本当に学校としては感謝しております。何とかこれを活用させていただきたいと思っておりますし、こういう予算を組むということは町民の皆さんのお金を使わせていただくということですので、当然ながら町の町民の代表である議会の議員の皆さんの御理解と了承がなければいけないことだと思いますし、また町民の皆さんにも、こんなに百石高校にお金をかけているのに何も効果がないじゃないかと思われないように、学校としても何とか令和6年度一生懸命頑張りたいと思っております。大変ありがとうございます。</p>
委員	<p>塾助成の希望者がいないというのは、これは生徒自身、あるいは保護者の気持ちも絡んでくるので、学校としてはいっぱい勧めてくれていると思っておりますので、このまま続けていただけるということは大変ありがたいなと思っております。</p> <p>ただ強調してほしいのは、これを受けたからといって何かを義務付けられるということがなく、不合格になっても問題ないだろう、このくらい気軽に言わないと受けられないような気がしますので、何とか増やしていただければなと思っておりました。</p> <p>検定料の方で、合格したら残りの2分の1も補助というのは非常にありがたいなと思ったので、ぜひ実現してほしいと思っております。</p> <p>最後ですが、今年の倍率は、我々はもう少し深刻に考えないと駄目だなと思っておりました。1.0倍どころか0.6です。これはちょっと深刻に考えなければと思っておりました。</p> <p>だからこそ今の狙い目として、六戸高校が廃校、五戸も募集停止になって、その地域の子たちの行き先がなかなか難しくなっているはずで、その子たちが5、6人でも百石高校にきてくれて倍率を上げたい。そのための交通手段がないから何かしら方法はないものかと。</p> <p>役場がやれなければ学校、学校がやれなければ後援会、何かしら手段を探して、その子たちからお金を集めてもいいと思うのでバスの運行をして、六戸の役場あるいは五戸の役場からぐるっと周るバスがあるだけでも何人か来てくれそうな気がします。</p> <p>おいらせ町対県の教育委員会が喧嘩をしても敵いません。彼らに強い権限がありますから、県が百石高校廃校と決めればいくら騒いでも</p>

	<p>駄目です。だからこそ五戸、六戸を全部囲んで、おいらせの主張に賛同してもらえる状況を作るためにも、この辺の子たちが百石高校に通学してくれていれば協力できると。とにかく県の教育委員会と対抗しないと駄目なので、そこを考えると、少しお金がかさんでもそういう地域から子供を運ぶ手段が欲しいなと思っていました。</p>
<p>会長</p>	<p>私もそこが大事だなと思っていました。</p> <p>たしか軽米高校が交通費を支払いしてくれて青森県境の方の子たちが2、3人ぐらい行っている。現実にはそういうのが行われているので、これはやれないことではないと思います。</p> <p>何らかの方法があるはずですので、例えば今みたいに六戸高校、五戸高校がなくなった。そういう地域の子供たちを、こっちに少しでも目を向けてもらって、こっちへ足を運んでもらうというような方法をこれから考えていかないとならない大きな課題だと考えます。</p> <p>軽米学校は本当に山の中なので交通手段がなかなかないので町外の子に対して助成している。また、学習関係の授業を大幅に改善して、東大合格者とかを輩出している。やはり何らかの変化する事を今後どうやっていかなければならないか考えています。</p> <p>何とかそこを勉強してもらって、事務局も大きな課題として教えてもらいたいなと思っていました。何卒よろしくお願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>今おっしゃった通り軽米高校の話から、教育長がおっしゃったのは連れてくるための交通手段、方法としてであって、軽米はただ連れてくるだけではなく学校の中身も変わっているんです。</p> <p>東大に行くための授業の仕方や、そのように他の学校と違うようなことをするべきです。私は百石高校が他の高校にはないようなことをやる必要があるんじゃないかと思っています。</p> <p>百石高校が1減になったら、なぜ普通科が1学級減なのでしょう。普通科2クラスで、食調科は減にならないんでしょうか。</p> <p>何を言いたいかというと、みんな同じで普通科だろうが食調科だろうが、もし3つあるうちのどれか1クラス減らされるなら考えないと駄目だと。</p> <p>常日頃考えていることですが、調理師の免許が取ってどうなのか、確かに無いよりあった方がもちろんいいです。百石高校は県立高校唯一の調理師養成施設ですが、私立だと県内に4校もあります。言いたいのは、もし減になった場合には食調科にこだわらなくても、その辺はフェアに考えていかないといけないと思います。</p> <p>校長先生も分かっていることですが、私が居たときから百石高校は文科省と厚労省が絡んでいます。調理師養成施設という、学校の中に</p>

	<p>そういう施設があるため2つの省庁からなっているので、先生方のことに関しても何にしても、非常に大変であると思います。その辺を考えなければ駄目だと思います。</p> <p>生徒数が減るといのは日本全体が減ってきていることですから、青森県も減ってお互いに奪い合いする、その分どこかが減らされるということになります。その辺考えて、百石高校がどこにもないような、すごく面白い、なんかすごいぞという感じを発信させないといけないと思います。バスで迎えに行きます、検定料半額にします、どうこうと言っても、そればかりでは大変ではないかと思いました。</p> <p>以上です。</p>
委員	<p>今政策推進課の方でも進めていると思いますが、町の小中高、高校は県立ではありますが町唯一の県立高校なので、やはりおいらせ町の高校というところで、小学校中学校と高校の中で総括的な教育環境を整えると。そうすれば、そのおいらせ町で学ぶといい環境だよというのは必要だと思いますし、今どんどん町に人が多く入ってきて家建てて、子供たちが小学校に入っているというのが実際増えているわけです。その子供たちが上がっていく中で中学、そして高校を選ぶときに、百石高校を選んでもらえるように魅力をもっと上げていかないとだめだと思いますし、最近は探究授業というのが非常に多くなってきて、様々なことに興味を持ってやっていくっていうのは、小中高やっていかないとだめなので、そういうコーディネーターといいますか、そういうのに長けた人が入ってくればいいなと思っています。そして高校の魅力アップ支援のコーディネーターも町の方から相談を受けていまして、もしその拠点としてコーディネーターを置ける環境であれば、本校の後援会の生徒会館を拠点にして、魅力作りをしていく、コーディネーターの助けも借りながら町の教育活動環境を整えるといいなという思いです。</p> <p>そして軽米の話は私も知っていますが、今お話しされていたように、食物調理科というのも存在しているので、なかなか自由に高等学校というのをものにはできないですけど、実は私も次年度に取り組みたいなというのがいくつかあり、その取り組みの中では少し町の方々が驚くようなものもあるとは思いますが、共感してもらえそうなものもあるだろうと思っています。</p> <p>本当に今日皆さんのご意見は私にとってすごく有意義なご意見だなと思っておりました。大変感謝いたします。</p>
事務局	<p>ただ今校長先生の話の中で、コーディネーターというお話がありましたので、その他といてご説明とされていたのですが、補足で説明さ</p>

	<p>せていただきます。</p> <p>まだ未確定要素が多いために案件として挙げていなかったのですが、来年度、百石高校魅力化コーディネーターという地域おこし協力隊の方を募集したいと考えており、既に町側と高校側で話は進めています。</p> <p>大まかな活動内容として、高校の総合的な探究の時間というのがあります、その時間における伴走支援、高校と町内の小中学校、地域の方々、行政、企業と様々な連携や協働におけるコーディネート、あと、後々は高校生だけでなく、小中学生や地域の方々も集えるような交流拠点の機能も備えた居場所、いわゆるサードプレイスというものの居場所作りができるようになればというふうに考えております。</p> <p>そこに向けて高校の先生方と打ち合わせや話し合いを重ねて、募集に向けて今動いているという状況であります。以上です。</p>
委員	<p>観光物産協会の方でも、ぜひ地域おこし協力隊をとっております。今まで町では任用型といって役場の仕事をやらせるような人を雇っていましたが、今おっしゃった通り委託型として、例えば福祉施設に行くとか、社会福祉協議会に行くとか、そのような委託型の地域おこし協力隊を考えてやってくれると非常にいいことだと思います。</p> <p>また、財政的にも皆さんご存知の通り国からお金が出るので、町から出さなくても来てくれて、人件費や事務費等のお金を国で出してくれるので、コーディネーターの種類も特殊な専門性や情報関係など、どんどん増やしていけば良いのではないかなと思います。</p> <p>私が先ほど百石高校は変わらないとならないと言いましたが、そんなことできるわけじゃないかという話かもしれませんが、我々が高校に入る時代は高校は出口でありました。今は卒業したらどこに行けるかなど、そこまで見極めていけば非常に入りやすいと思います。</p> <p>百石高校に行けば、大学、専門学校、企業、いろんな方面に対して、企業を訪問したり、インターンできたり、コーディネーターないしプロの人たちの話を聞けると、そのような中間の学校に百石高校がなっていけばいいと思っています。</p> <p>その一つとして、先ほど言ったバスを借りてのキャリア支援のためのオープンキャンパスなど来年度は精一杯やるべきだと思います。</p> <p>あちこち出かけて生徒に見せて、現場の人の話を聞いて、とにかく百石高校に行ったら、大学も自分の目指す大学に行けるように。自衛隊や公務員にも、福祉関係の専門学校にも行ける、そのような高校にするべきじゃないかと思っています。</p> <p>そのくらい発想を変えないと、これからの高校は他と同じことをやったところで、ただ減らされていくと思います。</p>

	<p>教育長もおっしゃった通り、県も1回減らすと言った場合は変わりません。</p>
委員	<p>おそらく次減らされるとすれば普通科です。</p> <p>なぜかという、普通科は2クラスあり調理科は1つしかないため、減らすとゼロですから県が減らしやすいのは普通科です。</p> <p>学校全体ではなく科ごとに倍率を見て、0.5を切ったら1クラス減らしていただろうと減らされると思います。</p> <p>それから、もし調理科がさらに減っていけば、おそらく近い学科がある三本木農業恵拓に吸収されると思います。そのためいつまでも残してもらえない方がよいと思っています。</p> <p>それから、おそらくこれから百石高校との協力もしていかないとないですが、様々な事業を行うときに小中高、学校全体の体制として土日のイベントは難しくなっていますので、先生方の勤務対応がなかなか今厳しくなっています。これを理解してあげた上での協力体制をとっていかないとならないと思っていましたので、よろしく願いいたします。</p>
委員	<p>そのところがお祭りに関する部分もハードルがなかなか高いとおっしゃっていました。</p>
会長	<p>非常に貴重な話だと思います。</p> <p>具体的に表にはっきりとさせる方向付けができるような高校にしていくことが大事だと思います。</p> <p>今後、もっと活力のある魅力アップ推進協議会にするためには、今のようなところに視点を持って行って、取り組んでいくということが大事なと私は感じました。</p> <p>それから、新しいコーディネーターを新年度に募集をかけるということは、その次の年から始めるということですか。</p>
事務局	<p>新年度に募集をかけて、最速で10月頃かなと思っています。</p>
委員	<p>それまでに、後援会や会長に相談、許可をもらいながらですけども、例えば後援会の持ち物である生徒会館の2階に執務スペースと活動に使えるスペースがあるので、そういうところも準備を進めながらやっていたらいいなと思いますし、もちろん先ほど中村委員がおっしゃったように国補助はありますが、魅力アップの補助の中にも少し入れ込んで、活動をもっと拡大できるようなものに進めていければ、私としては百石高校の魅力だけでなく、小中の子供たちが百石高校に入っていけるような環境を整えるためには、やはりこの町、そして行政や地域の皆さんの理解と協力ができないことだと思っていますし、コーディネートの話はすごくいいなと思い、先ほど軽米の話もあ</p>

	<p>りましたが、同じ岩手県の大槌町には学校の中に委託を受けたコーディネーターが入っていて、その方が学校の仕事にとらわれず専念できる人がいると、地域や企業を結びつけたり様々なことができるんです。</p> <p>どうしても我々教員としての仕事があるとそちらがメインなので、そこから仕事外のことやってくださいとなるとなかなか難しいです。そのためコーディネーターという立場の方がいてくれると、学校もやりたいことを思い切りやれるなど感じています。</p>
委員	<p>ぜひこれは成功させて2人3人と増やして、先生方だとなかなか自由にできないフリーな感じで学校と企業など、いろんなところに中間に入ってやっていけるので、ぜひ推し進めていければと思います。</p>
事務局	<p>大変期待していただきありがとうございます。</p> <p>ただ少し水を差すようなことかもしれませんが、今年度中に協力隊を置きたいという気持ちは事務局としていくらかでも早くとあるのですが、その地域おこし協力隊にどのような業務をやらせるかというミッションを決めるというのが第一段階にあります。その後に募集をかけて応募に対して面接をしたりという作業があります。</p> <p>そのためもちろん時間もかかりますし、そもそも募集に対して応募が来るのかというのがまず一番ですので、適任者が現れるのかという難しさもあるので、時期に関しては約束できないことをご了解いただきたいなと思っております。</p> <p>それからもう一点、今年度の入学の状況を見たときに、七戸高校と六ヶ所高校が結構伸びていました。</p> <p>今までは結構倍率が低く、六ヶ所高校についてははいよいよもう駄目かなという状況だったのですが、それが今なぜ伸びたのか考えたときに、六ヶ所高校に関しては、通学バスも5台出して、三沢の方からも生徒を連れてきているような状況があるそうです。</p> <p>七戸高校については、柏葉塾と言って、七戸高校の生徒のための公営塾を町で生徒会館に開設しています。そのようなことが効果として現れているのかなと思います。</p> <p>ただ、六ヶ所にしても七戸にしても、相当なお金を支出していると思いますので、百石高校はおいらせ町唯一の高校ですから、失くしたくないという思いは同じですけれども、逆に言うとおいらせ町から各方面の高校に行っている生徒さんたちも現実にはいます。そこのバランスも考えていかないといけないという難しさがあります。</p> <p>ただ、ご提案いただいた五戸六戸から生徒を連れてくるというような取り組み、通学バスのことについては引き継ぐことにしていましたので、いろいろな方法があると思いますので研究しながら、実現に</p>

	向けていただきたいなと思っておりました。
会長	<p>五戸から高校が無くなったら、お年寄りだけになり町が本当に寂しくなったという話もありました。そうなれば、やはり高校を失くしたくないという思いを持って、今日出ましたいろんな話を網羅して、どこに力を入れなきゃならないのかという部分を、もう一度事務局の中でも検討していただけると。</p> <p>既にコーディネーターは予算化されていますか。</p>
事務局	<p>置くと決まれば補正予算をつけます。</p> <p>今現在は採用するための予算は取っています。</p> <p>決まればその人の人件費、あるいは委託料はまた別途補正で予算を組みます。適任者が採用されると決まれば予算化していきます。</p>
委員	<p>とにかく教育にはお金がかかります。</p> <p>六ヶ所も七戸もお金をかけている分、教育にはお金がかかるし、かけるべきです。</p>
会長	<p>確かに教育にはお金がかかります。</p> <p>それで結果がなかなか出てこない、でも出てこなくても、それを理解した上でのプロセスということを皆さんに理解、認識してもらって、何とか教育にお金をかけていい人材を育成していきたいものだなと思っております。</p> <p>その他質問等はございますか。</p> <p>(なしの声)</p>

●その他	
発言者	発言内容
	なし